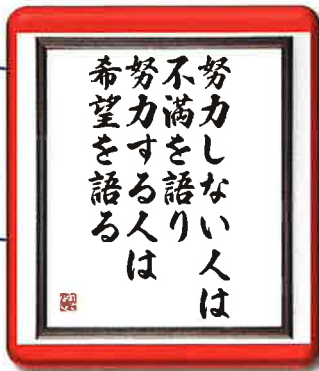




# S-mile 通信

令和7年1月15日発行 第83号

発行/理事長室 浜松市中央区大山町 2958 番地の 1



## 年頭のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

職員の皆さま方には輝かしい新年を迎えられた事をお慶び致します。昨年、慶成会は創立 30 周年を迎え全職員でお祝いすることができました。これも一重に、職員の皆さまの努力の賜物と深く感謝いたします。

さて、介護業界の厳しい外部諸障害にも負けないしっかりとした法人となるため、30年を一つのステップとして、次のステージを皆様と一緒に更に質の高い福祉サービスを提供し、利用者にも良く福祉サービスの受け手と提供者がしっかりとしたウイン・ウインの関係を作り上げましょう。

職員・利用者・地域、このことは介護サービスの「3方よし」ともなり、さらに上を目指して取り組んで参ります。

職員の皆様もいろいろな事にチャレンジして、この新しい年がより良い一年となりますよう祈念して年頭の挨拶とさせていただきます。

理事長 小澤 優

新年あけましておめでとうございます。新しい気持ちで新年を迎え、いかがお過ごしでしょうか。

新年を迎えるに、法人も個人も新しい価値観に変容していくことをどのように受け入れていくことが出来るかが、今後生き残っていく鍵になるのではないかと考えています。言い換えれば、今まで無かったものやサービスが次々と生まれ生活そのものも変わっていくのも楽しみでもあります。お金や土地などの不動産が価値あるものとされていた時代はとうに過ぎ、情報がお金となり、SNS で政局も大きく変わる時代になってきています。

今周りで起こり始めている、未来に向けての胎動を楽しみにする一年にしたいと思います。

皆様、一緒に新しい価値を創造していきましょう。

経営管理部長 堀川 典秀

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症が流行する季節となっておりますので、職員さんも感染対策・体調管理を引き続きしっかりおこなって頂くようよろしくお願いいたします。

今年も科学的介護・自立支援介護を推進する事で、ご利用者・ご家族・地域の方の健康寿命を伸ばし、笑顔が増えるよう、また職員の働きがいや達成感を共に味わえるよう、チーム一丸となり働きやすい職場環境作りをおこなっていきたくと思います。

今年もよろしくお願い致します。

事業統括部長 小澤 吉章



## 子ども食堂“クリスマス会”

12月21日(土) 子ども食堂においてクリスマス会を開催しました。毎月参加している子供たちを中心に親御さんを含め合計 12名の参加と

なりました。今回はいつも協力をいただいているボランティアの方2名に加え、聖隷クリストファー大学の学生さん2名がお手伝いに来てくれ、多人数での賑やかな会となりました。

当日は幼児から小学生までのメンバーが3つのチームに分かれ、宝探しやビンゴゲームを行いました。子供たちはいつもと違う雰囲気の中で、楽しく遊ぶことができ大喜びでした。

クリスマスに合わせチキンやピザを食べた後は、個々のショートケーキに飾り付けを行いました。デコレーションしたケーキを食べながら、お互いゲームで当選した景品や手土産を見せ合い大はしゃぎでした。

このクリスマス会は子供たちにとって嬉しいプレゼントになったと思います。皆さん来年も良い年をお迎えください！



## ベトナム視察団の見学

12月20日(金)ベトナムから視察団6名の皆様が慶成会に見え、入所施設やデイサービスセンター合わせ4施設を見学されました。

6名の内、4名はベトナムの行政関係者の方々です。また、同国の地域社会や高齢者領域を研究されている京都産業大学の加藤敦典先生、ベトナムの教育や社会活動に詳しい静岡大学の比留間洋一先生のお二人が同行されました。今回の視察は、花みずき介護職員のグエンティビックチャンさんが活動されているボランティア組織と、両大学との交流により実現しました。

視察団の皆様はグリーンヒルズ東山や花みずきの入所施設、きさらぎデイサービスやデイサービス野の花を見学されました。実際に慶成会で働くベトナム人職員の方へ、仕事のことや日常生活について色々と質問をされていましたが、対面でお話できたことで、日本での生活が充実している様子を理解いただけたかと思えます。

ベトナムは間もなく高齢化社会を迎えますが、日本のような介護保険制度がないため早急に社会で高齢者を支える仕組みを検討しなければならないそうです。しかし近い将来、日本と同じように少子化が進むことが分かっており、その対策を進めるに当たり多くの課題が残されています。今回の視察がベトナムの高齢化社会における課題解決の一助となり、安心できる制度の確立に結び付けば大変嬉しいです。



また当日はお忙しいところ、ヒアリングに協力いただいた、きさらぎデイサービスのホアさん、グリーンヒルズ東山のセンさんとフォンさん、また最初から最後までベトナム行政関係者の皆様と、通訳のために付き添っていただいたビックチャンさん、ご対応の時間をとっていただき大変ありがとうございました。



## 『ヤギ』がやってきました！

12月18日(水)地域包括センター和地が隣接する敷地内に、ヤギ3頭がやってきました。

真っ白ヤギが「みるく」ちゃん、黒白の大きい母親ヤギが「くもん」ちゃん、黒白の子供ヤギが「ゆき」ちゃんといい、てんとうむし保育園の園児が名付けてくれました。

ヤギはおとなしく人懐っこさもあり、見た目がとても可愛い動物です。粗食で庭にある牧草をゆっくり食べる姿を見ると、心が穏やかになり気持ちが癒されます。

園児たちは、間近で見るヤギに興味津々です。餌となる草や芝を取ってきて交互に差し出すと、ヤギは与えられたエサを美味しそうに食べています。ヤギの方も子供たちに懐くのが早く、柵の方へ擦り寄ってきます。



子供たちは動物と直接触れ合うことで生命の尊さに気づき、相手への優しさや思いやりを持つことの大切さを実感できます。一方、お年寄りにとってもヤギと触れ合うことが気持ちを安定させ、生きる喜びを感じながら笑顔で過ごすことができます。お正月には保育園、また近隣に住む子供もヤギの様子を見ようと遊びに来ていました。

現在、ヤギが過ごす牧場の名前を「ヤギさんのおうち」と考え、看板の設置も検討中です。もし、職員の皆さんから良い名前がありましたらご連絡下さい。



## “柚子”のご紹介！

12月末、地域の方からグリーンヒルズ東山に大小の“柚子”を提供いただきました。中でもジャンボサイズの柚子にびっくり!!です。

一般的に、柚子はビタミンCが豊富で栄養価が高く、その効能は風邪の予防や疲労回復に役立つと言われています。日本では古くより寒さから体を守るため、冬至にはお風呂に柚子を入れる習慣があります。柚子の香りが交感神経を刺激し、血流が良くなることで体の芯から温まることができます。また、皮を刻んで料理に入れたり砕いてジャムにしたりと様々な食べ方があります。

年度替わりの季節は空気が乾燥しインフルエンザが流行しますが、体の外内両側から柚子を取り入れ、体力をつけ健康を維持して参りましょう。



大きい鬼柚子